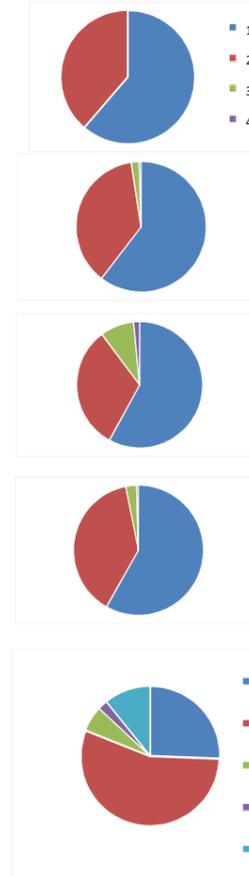


令和4年度 三国中学校 学校評価

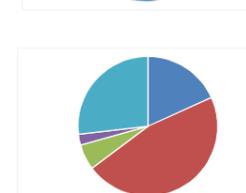
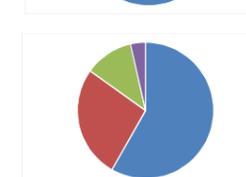
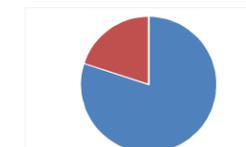
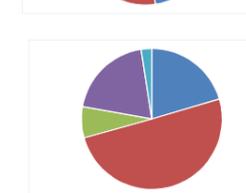
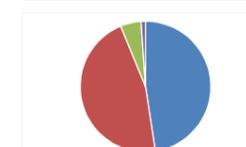
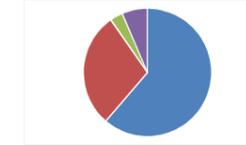
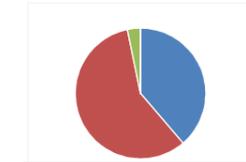
項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合			
①基礎・基本の徹底	授業や家庭学習を通じて、基礎・基本の習得のための指導に取り組んでいる。 (取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①授業や家庭学習を通じた、基礎・基本の習得のための指導を工夫している。	計31人		A+Bが100%	100%	教職員
		1 あてはまる。	19	61%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	12	39%			
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%			
		4 あてはまらない。	0	0%			
	授業に集中して取り組んでいるかどうか。 (成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	②学校の授業にまじめに取り組んでいる。	計450人		A+Bが98%	98%	生徒
		1 あてはまる。	272	60%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	167	37%			
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	9	2%			
	家庭学習にしっかりと取り組んでいるかどうか。 (成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	③学校の宿題などの家庭学習に、毎日取り組んでいる。	計450人		A+Bが90%	91%	生徒
		1 あてはまる。	261	58%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	143	32%			
3 どちらかといえば、あてはまらない。		39	9%				
学校の授業は、わかりやすいかどうか。 (成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	④学校の先生はわかりやすく教えてくれる。	計450人		A+Bが97%	98%	生徒	
	1 あてはまる。	262	58%				
	2 どちらかといえば、あてはまる。	174	39%				
	3 どちらかといえば、あてはまらない。	12	3%				
基礎・基本を身につけようとする学校の学習指導について満足しているかどうか。 (満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	⑤学校は、授業や家庭学習を通して、十分な学習指導を行っている。(プリントやワーク、チャレンジ学習での反復練習、テスト前の質問会、補充学習(3年)など)	計406人		A+Bが81%	79%	保護者	
	1 あてはまる。	104	26%				
	2 どちらかといえば、あてはまる。	225	55%				
	3 どちらかといえば、あてはまらない。	24	6%				
	4 あてはまらない。	9	2%				
成果と課題	①各教科で授業の最初に小テストなどの簡単な復習をしたり、3年の補充学習で解説を重視したりすることで基礎・基本の定着に力を入れた。 ②教員が早目に教室に行ったり、大きな声で挨拶をしたりすることで、落ち着いて授業が始められていた。 ④興味をひくような発問や資料の提示をすることで授業に集中できていた。 ⑤テスト前の質問会や学習会で質問に答えるだけでなく、学習内容の解説も行うことができた。 ⑤チャレンジ学習に対する意識の差が大きく、学力の向上や学習意欲の向上につながっていない生徒がいた。						
	具体策	⑤教員がチャレンジ学習の目的をしっかりと説明し、点検の際、適切なコメントをしたり、生徒同士で相互評価をしたりする。					

確かな学力



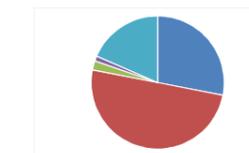
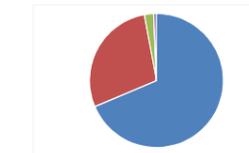
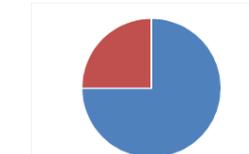
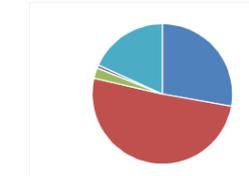
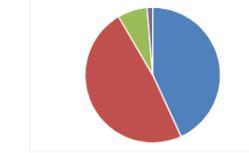
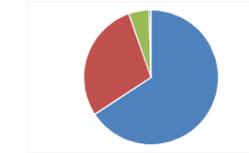
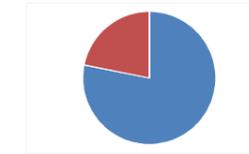
令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合			
②生徒が主体的に取り組み、考えを伝え合い、高め合う授業の実現	思考力・表現力を高める授業改善に取り組んでいるかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計100%	①生徒が、主体的に取り組み、考えを伝え合い、高め合う授業づくりに努めている。	計31人		A+Bが97%	91%	教職員
		1 あてはまる。	12	39%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	18	58%			
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	1	3%			
		4 あてはまらない。	0	0%			
	授業を公開しあい、授業改善に活かしているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計100%	②年間1回以上の授業公開を行い、他の教員の授業を参観している。	計31人		A+Bが90%	91%	教職員
		1 あてはまる。	19	61%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	9	29%			
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	1	3%			
		4 あてはまらない。	2	6%			
授業に主体的に参加することができているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計90%以上	③授業に前向きに参加し、他の生徒と意見や考えを伝え合うようにしている。	計450人		A+Bが94%	93%	生徒	
	1 あてはまる。	214	48%				
	2 どちらかといえば、あてはまる。	208	46%				
	3 どちらかといえば、あてはまらない。	23	5%				
	4 あてはまらない。	5	1%				
新学習指導要領に基づく、学校の学習指導に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	④学校は、実験や実習、タブレットなどを取り入れ、生徒の興味や意欲を高めるような授業づくりに取り組んでいる。	計406人		A+Bが70%	80%	保護者	
	1 あてはまる。	83	20%				
	2 どちらかといえば、あてはまる。	204	50%				
	3 どちらかといえば、あてはまらない。	29	7%				
	4 あてはまらない。	80	20%				
	5 わからない。	10	2%				
成果と課題	④生徒がICTの活用に慣れてきており、タブレットを通して自分の考えを深められるようになってきた。 ④タブレットを使った授業を保護者が参観できる機会がほとんどなかった。						
具体策	①④タブレットを使用して効果のある単元や学習方法を積極的に実践し、情報を共有することで魅力ある授業づくりに取り組む。 ④PTA総会日の授業参観や学校公開日において、ICTに関する機器を活用した授業を積極的に公開していく。						
③読解力育成を目指した読書活動の推進	朝読書の充実に努めているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①「読書」の時間の確保と充実に努めている。	計20人		A+Bが100%	100%	教職員
		1 あてはまる。	16	80%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	4	20%			
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%			
		4 あてはまらない。	0	0%			
	朝読書に意欲的に取り組んでいるかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	②「読書」の活動に集中して取り組み、月1冊以上のペースで本を読んでいる。	計450人		A+Bが85%	85%	生徒
		1 あてはまる。	262	58%			
		2 どちらかといえば、あてはまる。	120	27%			
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	52	12%			
		4 あてはまらない。	16	4%			
本などの活字に親しむ取り組みにまんぞくしているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	③学校は、読書の時間の確保や読書記録カードの記入、毎月のホームページなどを通して、本に親しむ取り組みを行っている。	計406人		A+Bが65%	70%	保護者	
	1 あてはまる。	74	18%				
	2 どちらかといえば、あてはまる。	189	47%				
	3 どちらかといえば、あてはまらない。	24	6%				
	4 あてはまらない。	10	2%				
	5 わからない。	109	27%				
成果と課題	①朝活動の導入により、朝読書の日数が減少したものの、毎月末に図書委員が読書カード記録の呼びかけをしたことで、昨年よりも読書をする意欲が高まった。 ②じっくり読書をしたいという生徒や多くのページ数のある本を読みたい生徒には、月一冊という設定は高いと思われる。						
具体策	③来年度も、ホームページで図書館の取組などを紹介していく。加えて、図書館便りを生徒に配る際、新刊図書を紹介や、読書に関する啓発を積極的に担任から発信していくことで、保護者に少しでも伝わるように努める。						



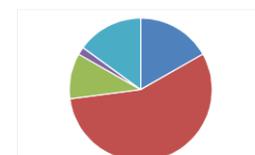
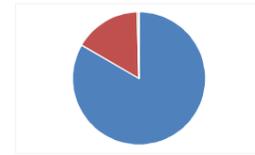
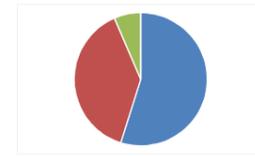
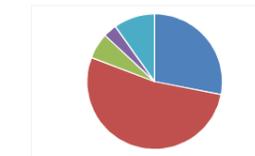
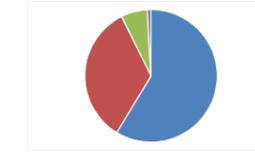
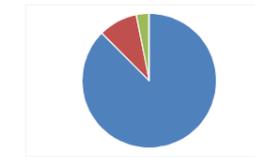
令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
豊かな人間性	①挨拶を励行し、時間を守る礼儀正しい生徒の育成	挨拶や時間を守ることの重要性を理解し、生徒に対して積極的指導に取り組んでいるかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①挨拶、時間を守った学校生活についての指導を積極的に行っている。	計32人			A+Bが100%	100%	教職員
		1 あてはまる。	25	78%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	7	22%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
		挨拶の大切さを理解し、自分から積極的に挨拶をしているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	②自分から、進んで挨拶を行っている。	計450人			A+Bが96%	96%	生徒
		1 あてはまる。	296	66%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	130	29%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	22	5%					
		4 あてはまらない。	2	0%					
時間を守ることの大切さを理解し、時間を守って学校生活を送っているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	③時間を守って学校生活を送ることができている。(2分前着席など)	計450人			A+Bが92%	94%	生徒		
1 あてはまる。	194	43%							
2 どちらかといえば、あてはまる。	218	48%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。	32	7%							
4 あてはまらない。	6	1%							
挨拶や時間など基本的な生活習慣の指導に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	④学校は、挨拶や時間を意識した学校生活の指導を十分行っている。 【2分前着席の実施、各委員会の取り組み(あいさつ運動など)、学習習慣の指導など】	計406人			A+Bが79%	79%	保護者		
1 あてはまる。	113	28%							
2 どちらかといえば、あてはまる。	206	51%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。	10	2%							
4 あてはまらない。	3	1%							
5 わからない。	74	18%							
成果と課題	②三本柱を定期的に意識づけてきたことが、教員と生徒の判定結果として現れた。 ④保護者の判定結果が目標指数より大幅に低い。学校内や地域で挨拶をしているようであるが、家でも挨拶ができるような働きかけが必要である。								
具体策	④朝学活、帰りの学活、道徳の時間、特別活動、部活動で挨拶の指導・支援を行い、生徒が自発的に挨拶ができるような取組を進めていく。								
豊かな人間性	②無言清掃の黙働を通し、自分を見つめ、心を磨く生徒の育成	毎日の無言清掃に生徒が意欲的に取り組むよう指導しているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①毎日の清掃活動(無言清掃)に、生徒が時間いっぱい意欲的に取り組む指導を十分に行っている。	計32人			A+Bが100%	100%	教職員
		1 あてはまる。	24	75%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	8	25%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
		毎日の無言清掃に積極的に取り組んでいるかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	②時間いっぱい無言清掃に取り組むことができている。	計450人			A+Bが97%	97%	生徒
		1 あてはまる。	309	69%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	128	28%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	10	2%					
		4 あてはまらない。	3	1%					
清掃活動「無言清掃」の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が 80%以上	③学校は心を育てる教育の一環として、清掃活動(無言清掃)に十分取り組んでいる。 (おしゃべりや怠けを我慢する心、皆のためにがんばる思いやりの心、汚れや周りの様子に気づく心、校舎への感謝の心など)	計406人			A+Bが78%	79%	保護者		
1 あてはまる。	114	28%							
2 どちらかといえば、あてはまる。	203	50%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。	9	2%							
4 あてはまらない。	5	1%							
5 わからない。	75	18%							
成果と課題	③保護者に対する設問内容が答えづらいので、判定結果が低いと予想される。学校で指導していることが、家庭でも発揮できるような設問に変更した方が良い。								
具体策	③無言清掃の様子を知ってもらうために、学校公開や保護者会などで積極的に公開する。								



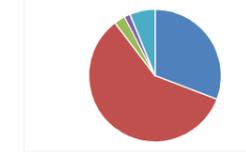
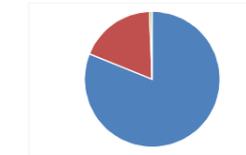
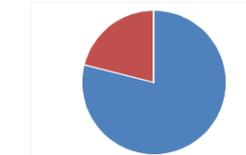
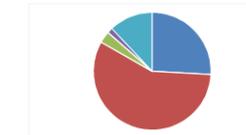
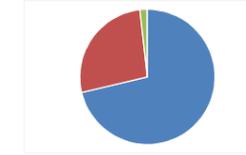
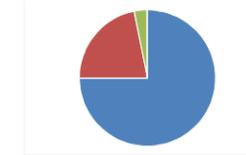
令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
③いじめ・不登校の未然防止, 早期発見・早期対応	いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を常に意識し、迅速な報告、連絡、相談およびチーム対応をおこなっているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を常に意識し、迅速なチーム対応に努めている。 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。	計32人		A+Bが97%	97%	教職員		
			28	88%					
			3	9%					
			1	3%					
			0	0%					
	いじめは絶対に許されない卑劣な行為であることを理解し、いじめを許さず、他者への思いやりや助け合いの心をもって学校生活を送っているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	②いじめを許さず、いじめに気づいたときはすぐに誰かに相談するようにしている。 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。	計450人		A+Bが93%	93%	生徒		
			264	59%					
			153	34%					
			29	6%					
			4	1%					
いじめや不登校についての未然防止策や早期発見・早期対応に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	③学校はいじめや不登校の未然防止や早期発見のために、定期的に生徒・保護者へのアンケートを行い、早期対応に努めている。 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。 5 わからない。	計406人		A+Bが81%	82%	保護者			
		114	28%						
		214	53%						
		25	6%						
		13	3%						
40	10%								
	成果と課題	③生徒・保護者に対する定期的なアンケートの実施と教育相談の時間を多く設定していることが、高い判定結果となっている。							
	具体策	③教育相談日より、アンケート結果や学校の取組を紹介する。							
④ネット社会における情報モラルの向上	インターネットや携帯電話などについて、安全かつ適切な活用能力を身につける指導をおこなっているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①インターネットや携帯電話、タブレット、ゲーム機器などの適切な使用について、指導を十分行っている。 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。	計31人		A+Bが94%	94%	教職員		
			17	55%					
			12	39%					
			2	6%					
			0	0%					
	t o 2 2 宣言を守り、インターネットや携帯電話などの安全かつ適切な使用について理解できたかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	②インターネットや携帯電話、タブレット、ゲーム機器などについて、安全で適切な利用のしかたを理解し、安全に利用している。 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。	計450人		A+Bが100%	97%	生徒		
			375	83%					
			73	16%					
			2	0%					
			0	0%					
インターネットや携帯電話などの適切な使用についての指導に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	③学校は、インターネットや携帯電話、タブレット、ゲーム機器などの適切な使用について、十分指導を行っている。(情報モラル教室の実施、我が家のスマートルール作成・保護者会での振り返りなど) 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。 5 わからない。	計406人		A+Bが73%	77%	保護者			
		68	17%						
		228	56%						
		42	10%						
		7	2%						
61	15%								
	成果と課題	①各教科や道徳、担任からの定期的な指導により、生徒の判定結果は高い。							
	具体策	③我が家のスマートルールの作成、振り返りの継続。10月に中間評価を行う。							



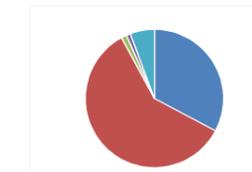
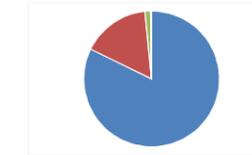
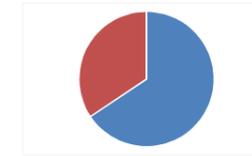
令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
健全な体と心	①お互いの人権を尊重し、相手を思いやり、協力する学級・学校づくり	日々の教育活動を通して、望ましい人間関係ができるような集団作りに取り組んでいるかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①日々の教育活動を通して、望ましい人間関係ができるような集団づくりに努めている。	計32人		A+Bが 97%	100%	教職員	
		1 あてはまる。	24	75%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	7	22%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	1	3%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
		学校生活の中で、望ましい人間関係を作ることができているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	②学校生活の中で、相手を思いやり、他の子と協力して様々な活動に取り組んでいる。	計450人		A+Bが 98%	98%	生徒	
		1 あてはまる。	321	71%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	121	27%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	8	2%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
人権教育の充実を図り、思いやりや協力する気持ちを育てる学校の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	③学校は、お互いの人権を尊重し、思いやりの心や協力する気持ちを育てる集団づくりを行っている。(学校行事、学年行事などのさまざまな機会を通して、よりよい集団づくりに取り組んでいる。) 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。 5 わからない。	計406人		A+Bが 83%	83%	保護者			
1 あてはまる。	105	26%							
2 どちらかといえば、あてはまる。	233	57%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。	13	3%							
4 あてはまらない。	6	1%							
5 わからない。	49	12%							
成果と課題	①昨年度に引き続き、コロナ禍でも工夫して学校行事、学年行事等の様々な活動を行うことができた。ZOOMでの配信などを通じて、保護者に活動の様子を知ってもらうことができた。 ③保護者への質問で「わからない」という回答が多かった。学校の取組が分かるような発信をしていくことが必要である。								
具体策	①②年間を通じて、生徒たちのボランティア活動の場を提供し、その様子を学校・生徒・家庭・地域が共有できるように発信する。 ③「人権教育」の特集(人権週間は12月)の取組を2学期に行い、保護者に発信する。								
②体験活動、ピア・サポート活動を取り入れた、道徳・特別活動の充実		居心地のよい学級づくり(居場所づくり)や仲間づくり(絆づくり)を意識し、道徳や特別活動の時間を有効に活用し、自己有用感を高めるよう努めているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①道徳や特別活動、短学活の時間を活用し、一人一人が安心でき、所属感のある学級づくり、集団づくりに努めている。	計19人		A+Bが 100%	100%	教職員	
		1 あてはまる。	15	79%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	4	21%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
		学校には自分の居場所があり、自分が必要とされていると感じているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	②学校には、自分の役割や居場所がある。(教室・委員会・部活動など) 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。	計450人		A+Bが 99%	92%	生徒	
		1 あてはまる。	365	81%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	82	18%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	3	1%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
道徳や特別活動を通じた望ましい集団づくり(居場所づくりや絆づくり)の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	③学校は、学校生活を通して、よりよい集団づくりに取り組んでいる。(授業・委員会・学校祭・部活動など) 1 あてはまる。 2 どちらかといえば、あてはまる。 3 どちらかといえば、あてはまらない。 4 あてはまらない。 5 わからない。	計406人		A+Bが 90%	86%	保護者			
1 あてはまる。	125	31%							
2 どちらかといえば、あてはまる。	239	59%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。	11	3%							
4 あてはまらない。	6	1%							
5 わからない。	25	6%							
成果と課題	②昨年度は、「自分の居場所」の捉え方を共通理解できていなかったが、今年度は、設問に具体例を挙げることで生徒がイメージしやすくなった。								
具体策	①各学級担任、部活動顧問、教科担任などによる細やかな生徒一人ひとりの「みとり」を継続して行う。								



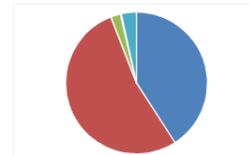
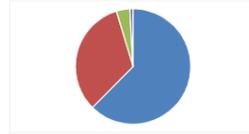
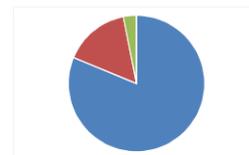
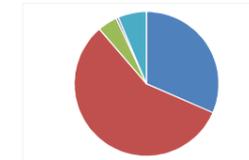
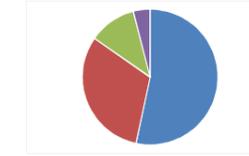
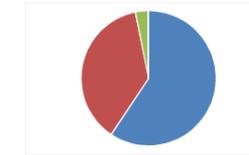
令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
③保健・安全 教育と食育による 健全な身体づくり	生徒の心身の健康に注意を払い、子どもの安全確保や保健・安全教育および食育に取り組んでいるかどうか。(取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が100%	生徒の心身の健康に注意を払い、保健・安全教育や感染症対策に努めている。	計32人		A+Bが100%	100%	教職員		
		1 あてはまる。	21	66%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	11	34%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%					
		4 あてはまらない。	0	0%					
	自分自身の心身の状態に関心を持ち、健康で安全な生活を送るよう心がけているかどうか。(成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	②自分自身の心や体の健康状態に気づき、感染症対策(マスク着用・手洗いなど)に心がけている。	計450人		A+Bが98%	99%	生徒		
		1 あてはまる。	370	82%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	73	16%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	6	1%					
		4 あてはまらない。	1	0%					
子どもの安全確保や健康管理のための学校の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	③学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分に行っている。(交通安全教室・街頭交通指導、感染症対策、保健だより・給食だよりなどの配付やホームページへの掲載)	計406人		A+Bが92%	93%	保護者			
	1 あてはまる。	133	33%						
	2 どちらかといえば、あてはまる。	241	59%						
	3 どちらかといえば、あてはまらない。	5	1%						
	4 あてはまらない。	4	1%						
	5 わからない。	23	6%						
成果と課題	①昨年に引き続き、子どもの安全確保や保健安全(感染症対策等)に留意して取り組んでいる。								
具体策	③子どもの安全確保や健康管理のための学校の取り組みをホームページ等で知らせる。								



令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者	
			人数	割合	人数	割合				
信頼される学校	①学校により、ホームページ等による積極的な情報発信	教職員が、学校だよりやホームページ等で積極的な情報発信を行っているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	①学校だより(学年通信、生徒指導部だより、保健だより、図書館だより)やホームページ等を通して積極的に情報を発信している。	計32人			A+Bが 97%	85%	教職員	
		1 あてはまる。		19	59%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。		12	38%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。		1	3%					
			4 あてはまらない。		0	0%				
		生徒が、学校だよりやホームページ等に行事予定や活動の様子が掲載されていることを理解し、利用しているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 80%以上	②学校だより(学年通信、生徒指導部だより、保健だより、図書館だより)から、今後の活動の情報を得ている。また、ホームページで活動の様子が掲載されていることを知っている。	計450人			A+Bが 85%	85%	生徒	
		1 あてはまる。		240	53%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。		141	31%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。		51	11%					
			4 あてはまらない。		18	4%				
保護者が、学校だよりやホームページ等から教育活動に関する情報に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	③学校は、教育活動を適切に伝えている。(ホームページ、安全安心メール、学年通信、生徒指導部だより、保健だより、図書館だよりなどで)	計406人			A+Bが 89%	91%	保護者			
1 あてはまる。		128	32%							
2 どちらかといえば、あてはまる。		232	57%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。		18	4%							
4 あてはまらない。		2	0%							
	5 わからない。		26	6%						
	成果と課題	①部活動の更新が少ない部があった。 ①部活動大会中は顧問も副顧問も運営に携わっている競技もあり、活動写真を撮るのは厳しい。 ③体育祭や文化祭を動画で配信することで、参加できない保護者への対応ができたのは良かった。								
	具体策	①各部活動の活動予定表や学年の様子、生徒の普段の学校生活についても発信していく。 ①ホームページ担当者だけでなく、材料提供や掲載の依頼などを全職員で取り組む。 ③紙媒体での配布物に関しては、必要に応じて、安全安心メールにて配布したことを保護者に知らせ、内容によっては、配布資料をPDFにて添付する。								
②家庭・地域・他校種への学校公開を充実		学校として、学校公開を積極的に行っているかどうか。(取組指数) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①学校公開の際には保護者から信頼を得ることを意識し、授業や学校行事に取り組んでいる。	計32人			A+Bが 97%	100%	教職員	
		1 あてはまる。		26	81%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。		5	16%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。		1	3%					
			4 あてはまらない。		0	0%				
		生徒が、学校公開の目的を理解し、信頼される三中生となるよう努めているかどうか。(成果指数) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	②学校公開(体育祭、授業参観)の時には、意欲的に取り組み、信頼される三中生となるようがんばっている。	計450人			A+Bが 95%	97%	生徒	
		1 あてはまる。		281	62%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。		148	33%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。		17	4%					
			4 あてはまらない。		4	1%				
保護者が、学校公開による教育活動の公開に満足しているかどうか。(満足度指数) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	③学校は、学校行事や授業などの教育活動を、感染症対策を講じたうえで、できる限り公開している。(体育祭や学校公開による授業公開など)	計406人			A+Bが 94%	95%	保護者			
1 あてはまる。		166	41%							
2 どちらかといえば、あてはまる。		216	53%							
3 どちらかといえば、あてはまらない。		9	2%							
4 あてはまらない。		1	0%							
	5 わからない。		14	3%						
	成果と課題	③学校公開は、様々な制限の中での開催であったが、ある程度保護者の理解を得ることができた。								
	具体策	③次年度も今年度以上に、感染症対策を講じたうえで積極的に学校公開を行っていく。								



令和4年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
③「地域と進める体験推進事業」の推進により、ふるさと三国に誇りや愛着を持つ生徒の育成	教職員が、「地域と進める体験」の目的を理解し、事業推進に努めているかどうか。 (取組指数) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①ふるさと三国や福井に愛着を持つ生徒の育成に努めている。	計31人		A+Bが 100%	94%	教職員		
		1 あてはまる。	25	81%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	6	19%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%					
	生徒が、ふるさと三国に誇りや愛着を持つようになったかどうか。 (成果指導) 【目標指数】A+Bの合計が 80%以上	②ふるさと三国に誇りや愛着があり、地域に役立つことをしたいと思う。	計450人		A+Bが 93%	93%	生徒		
		1 あてはまる。	219	49%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	199	44%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	25	6%					
	保護者が、ふるさと三国に誇りや愛着を持つ生徒を育成するための取り組みに満足しているかどうか。 (満足度指導) 【目標指数】A+Bの合計が 80%以上	③学校は、ふるさと三国に誇りや愛着をもつ生徒を育成するための活動を、感染症対策での制限がある状況で、できる限り取り組んでいる。(1年総合「I Love Mikuni I know Mikuni 現地調査活動」、2年総合「三国マイスター三国の魅力を発信しよう」、3年総合「三国の未来を考えよう」進路 三国高校生徒との交流「ようこそ先輩」)	計406人		A+Bが 87%	91%	保護者		
		1 あてはまる。	138	34%					
		2 どちらかといえば、あてはまる。	216	53%					
		3 どちらかといえば、あてはまらない。	5	1%					
4 あてはまらない。		1	0%						
5 わからない。	46	11%							
	成果と課題	①昨年度までは、3年生での三国に関する地域学習が5月の発表(2年生の時に作成)のみであったが、修学旅行での活動を含めて2学期にクラスでの発表の場を設けた。また、1、2年生にむけて3年間のまとめの発表をすることで、三国に対する意識を高めることができた。 ②昨年度同様、生徒はふるさと三国に対する意識が高い。 ③各学年の様々な取り組みを学校だよりやHPで紹介しているため、保護者も「ふるさと教育」への意識が高いと考えられる。							
	具体策	①三国高校の「地域探究」学習の取組の発表を聞く機会を設定するために、三中・三高連絡協議会で活動計画を共有し日程調整を行う。学校全体で三国の活性化に取り組む。 ③「芝桜植栽」のように、地域と連携した活動への参加を増やすため、個人参加だけではなく、部活動単位での参加を促す。そのために、年度当初には日程の確認を行い、部活動での参加がしやすいように日程の調整を行う。							

